

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より、アルタベビー美園東園の保育活動にご理解・ご協力ありがとうございます。
先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1. 保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー美園東園

回答率：100%

No	質問項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	79%	21%	0%
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	89%	11%	0%
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	89%	11%	0%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	89%	5%	5%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	58%	37%	5%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの当社社員の対応は信頼できますか	89%	11%	0%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	100%	0%	0%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	84%	16%	0%
9	当園に満足されていますか	84%	16%	0%

今年度はコロナウイルスが5類に移行し、保育園生活や行事においても緩和される場所がありました。園内では、コロナウイルスをはじめ、溶連菌、アデノウイルス、RSウイルス、胃腸炎が流行しました。早めの受診のご協力、勤務調整等してお迎え対応をして頂き、ありがとうございます。

ベビー美園東園では、季節ごとの行事や製作活動に力を入れてきました。子ども達が保

育園でしか経験できない事を、五感でたくさん感じ、吸収してほしいという職員全員の思いから毎月全員で話しあい、準備しています。特に運動会は保護者の皆様にも参加して頂き、子どもたちの成長を感じて頂く事が出来たのではないのでしょうか。

また、子ども達は一日の大半を保育園で過ごしています。保護者の皆様に安心してベビー東園にお子様を預けて頂けるよう、送り出しの際は保育園での一日様子を分かりやすく伝えたり、怪我の際はどんな状況だったのかを説明するよう徹底しました。

まだまだ至らない点が多くあるかと思いますが、引き続き職員一同精進して参ります。

・項目1につきましては、昨年度よりも保育理念・保育目標を理解して頂きました。今年度の保育理念は「食育から始まる、微笑みが溢れる保育園。全ての子どもに満ち足りた時間を。」と掲げ、保育目標は①心も身体も健康で、笑顔溢れる子どもを育てる。②人との関わりを喜び、元気な挨拶が出来る子どもを育てる。としています。

毎月の食育活動は様々な食物に触れ、味わう事が出来るので、子ども達も楽しみにしている行事の一つです。季節の旬の食べ物を美味しく頂き、心も身体も健康になると同時に、色々な食べ物の名前を知る事が出来ました。

駅前園ということで、近隣の方と関わる機会がないベビー美園東園ですが、今年度は人と関わる機会を少しでも増やすために、浦和美園駅の駅員さんにもベビー美園東園のイベント(ハロウィン・節分等)に協力して頂きました。毎年恒例の美園出張所の消防士さんとの交流は子ども達だけでなく、保護者の皆さんにも大変喜ばれています。保育園で生活する中で関わる事が無かった人との関わりが持て、とてもいい機会となりました。来年度は更に人との関わりを多く持てるように、近隣の交番やコミュニティーセンターにも行ってみたいと考えています。

来年度も保育理念・保育目標を社員全員に落とし込み、同じ目標に向かっていけるようにして参ります。

・項目2については、「はい」と回答された方が約9割の結果でした。こちらにつきましては、より一層子ども達の気持ちに寄り添い、ゆったりとした時間のなか保育が出来るように努めて参ります。

・項目3につきましては、「はい」と回答された方が9割、「どちらともいえない」が1割とほとんどの方にご満足いただけています。子どもたちは園生活を送る中で、様々な言葉を吸収しています。その為、まずは社員が丁寧な言葉を使う必要があると思います。丁寧語や敬語を社員全員が正しく使えるよう、園内研修を行い改善して参ります。また、子ども達や保護者の皆様に真摯な態度で向き合い、お互いに気持ちよくやり取りができるように全員で意識して参ります。

服装等につきましては、今一度会社の規定を確認し、理解していく必要があると感じま

した。出勤したら、まずは身だしなみを整えてから打刻を行い、気持ちよく就業開始できるようにお互いに確認できる環境づくりを徹底します。

・項目4についてです。約9割の方にご満足頂けておりますが、「どちらともいえない」、「いいえ」と回答された方がいらっしゃいました。いつ来てもきれいな保育園とだけいただけるように、清掃と整理整頓を行います。私たち保育士が清掃や整理整頓を積極的に行う事で、子ども達にもお片付けの習慣や美化意識が身につくと思います。来年度はチェックリスト等を作成し、第三者の目線で園を見て改善していきます。

昨年度の園の自己評価でも記載しましたが、「玄関は家の顔」と言われるように、下駄箱の拭き掃除と床の掃き掃除は毎日徹底して行う為に、社員に周知して参ります。

・項目5については、半数の方にご満足頂けていない結果となりました。大変申し訳ございません。

コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症はほとんどありませんでしたが、夏場にはRSウイルスやアデノウイルス、冬には胃腸炎と季節の風邪が流行しました。

毎日の清掃や玩具の消毒は行っておりますが、感染拡大を防ぐことができませんでした。ワンフロアでの共同保育をしていることもあり、感染すると一気に広まってしまうのが現状ですが、系列園のベビー園の感染対策を聞いて、取り入れていきたいと思っております。

年齢的な問題になりますが、言葉で上手く伝えられず、噛みつきや引っ掻きが多く、保護者の皆様にはご心配をお掛けする事が多く、申し訳ございませんでした。私たち保育士も日々試行錯誤しながら、どうしたら子ども達にうまく伝わるのかを考えながら保育を行ってきました。また、さいたま市のコーディネーターの方にも来園して頂き、お部屋の使い方や言葉かけ、子ども達との関わり方のアドバイスを頂きました。

安全対策の面では、柵の新規購入や適宜クラスを分けて保育する等、子どもたちが密にならないような環境を作りを継続して行って参ります。その他にも、年齢にあった玩具の設置、破損はないかの確認も日々行います。保護者の皆様から見てお気付きの点がございましたら、職員にお声かけください。

安全対策、感染症対策の面で、全員で話し合いましたので、今後は下記内容を徹底して参ります。

【安全対策】

- ・共同保育が多い小規模園だが、子どもの様子を見て適宜部屋を分けての活動も取り入れる。
- ・玩具の新規購入や年齢に合った玩具を提供し、集中して遊べるような環境をつくる。社員も子どもたちの遊びが展開していくような声掛けをする。
- ・玩具の定期的な点検を行う。また、玩具の使い方の確認を行う。
- ・散歩ルートの確認、危険個所の周知。

【感染症対策】

- ・ワンフロアなので常に換気を行い空気を循環させ、室温・湿度管理を行う。湿度が低い際には加湿器を利用する。
 - ・床や柵、玩具等の消毒。
 - ・社員のマスク着用と手洗い・うがいの励行、出勤前の検温の徹底。園児の検温と体調観察。
 - ・嘔吐処理方法を全員で再度確認し、いつでも見れるところに掲示する。また、嘔吐があった際は部屋を隔離し、嘔吐物から距離をとる。
 - ・感染症が出た際は、玄関に掲示し、園内でどんな病気は流行しているのかを周知する。
 - ・連絡帳や帰りの送り出しの際に、子どもたちの体調の共有をお互いに徹底する。
- 以上を全社員に周知し、全員で意識して取り組んで参ります。

- ・項目6について、ほとんどの方にご満足頂けております。

いつもお子様の体調不良の際、早めのお迎えや受診のご協力ありがとうございます。私たち社員も子ども達の体調の変化に早く気付けるように健康観察を行っております。連絡帳の食事、睡眠時間、排便、機嫌、検温、子どもの様子を確認し、保育を始めております。ご家族の方からのお家での様子、普段と変わった様子は職員間でも共有し、その日の活動を再確認しています。引き続き、体調不良の際はご連絡をさせて頂き、ご家族のお迎えが来るまで、必要に応じて隔離をしながらお子さんをお預かり致します。また、怪我の際も、その時の様子や経緯、対処をお伝えさせて頂きますので、ご不明点がありましたらお声かけください。

- ・項目7については全員の方にご満足頂けております。ありがとうございます。

引き続き、毎月の食育にも力を入れて、食への興味・関心を持ってもらえるように活動に取り入れていきたいと思っております。楽しく会話をしたり、苦手な物が食べられた時は沢山褒めたりし、食事の時間が楽しい時間になるようにしていきます。

- ・項目8についてです。「はい」の方が84%、「どちらともいえない」が16%の結果でした。こちらについては、社員の聞く力、上司に伝える力、問題を解決する力が必要だと感じました。まずは保護者の皆様の要望や不満に思った事をしっかりと聞く事、聞いた内容を上司に的確に伝える事、問題に対しての正確な答えを導く事を全社員で行って参ります。社会人の基本である、「報告・連絡・相談・把握」を今一度各自で出来ているか見直して参ります。

- ・項目9は約8割の方にご満足頂けております。来年度、全員の方にご満足頂ける為には

どうするべきかを全員で話し合いました。

- ・保護者の方が園に求めている事は、それぞれの家庭状況で違っている。園と保護者の皆さまのニーズにズレ出ないように、普段のやり取りの中で確認する。
- ・保育士と保護者の皆さまとの情報共有、意見交換が足りていないと感じた。日々の様子や家庭での様子は共有出来ているが、保育の進め方や保護者の皆さまのご意見等、一歩踏み込んだ内容も話せたらよいと感じた。その為に、意見を言いやすい環境作りをしていく必要がある。定期的なアンケート配信を行っていききたい。
- ・保護者の方にも見て頂ける行事や活動を取り入れて、どんな保育をしているのかを知ってもらう。保育園での子ども達の様子を今以上に丁寧にお伝えし、ルクミーでの掲載を引き続き行っていく。

2. 社員自己評価に関して

当社の姿勢目標は下記の5点となっています。

- ①進取の精神と自学の姿勢
- ②報連相把の徹底
- ③得意分野の深化
- ④規律の順守
- ⑤安心・安全な労働活動の確保

社員に自己評価を実施し、まとめました。各自が姿勢目標の内容を理解し、より良い保育を提供できるよう、考え行動をしていきます。

〔当社姿勢目標の順守に関して〕

- ・子どもの対応等、困ったときや悩んだときはネット等で調べたうえで、他の社員に相談するように心がけている。
- ・子どもの様子はいつでもメモが取れるようにしている。特にサポートに入ったクラスは気になる事や頑張っていたことをメモして日誌に記載している。
- ・その日の様々な場面での対応や声かけがどうだったのか、上手くいったこと、出来なかった事を振り返り、他の先生の対応を観察して学びながら取り組んでいる。
- ・各種提出物の期限は確実に守るように、早め早めに取り組み、期限内に提出できるよう徹底した。
- ・分からない事、調べたい事などはネットや本等を読んで、保育に取り入れられるように心がけた。

- ・出勤していないときのヒヤリハットの記録や引継ぎノートに目を通し、園内の状況を職員全員で共有した。
- ・ティッシュやペーパー類、アルコールやハンドソープの補填、補充の徹底。また、共有教材の整理整頓。
- ・印刷物を活用した、視覚的教材の製作。
- ・自ら挨拶をしたり、積極的にコミュニケーションを取ったり、社員同士が関わりやすい環境を作れるよう心掛けた。

【コドモンを用いた保育計画に関して】

- ・思いついたときにすぐ入力が出来たり、書き換えたりが出来、後回しにならずに済んだことで計画を立てやすかった。
- ・1週間分の週報が見れてわかりやすい。
- ・過去の帳票を見る際、1日ずつ遡らないといけない点が不便だった。
- ・コドモンを用いたことによって、ねらい等全体の把握がしやすく、翌月や翌週のねらいをスムーズに立てる事ができた。
- ・アンケート機能でスムーズな集計が出来たり、資料室に園だよりや献立表を掲載することで保護者の皆さまへの周知が即時にできた。また、印刷物が減る事で、資源の削減も出来ていると感じる。
- ・ねらいも、年齢にあっている内容なのかを確認しながら行うことが出来た。
- ・日誌、週案、月案が1つにまとまっているので、効率よく進められる。
- ・他のクラスの案も参考にしながら、保育計画を立てる事ができた。

【保育の成果、次年度に向けた目標に関して】

- ・子ども達が安心して毎日楽しく過ごせる事に重点を置いて保育を行ってきた。歌を歌ったり、手遊びをしながら遊ぶことで、今では歌を口ずさむと子ども達が集まってきたり、子どもたちの方からエンドレスの手遊びの催促が来るようになった。言葉が出始める頃には、沢山話しかけ、言葉と物事が結びつくように、発語につながるよう心掛けた。
- ・怪我やトラブルの対応で、保護者の方に不安な思いをさせたケースがあった。1歳児クラスになると、自我も出てきて、悩みや不安、相談事も出てくると思う。保護者の方ともコミュニケーションをたくさん取る事が重要になってくるので、意識して取り組んでいきたい。
- ・乳児がかかりやすい病気や、感染症の対策を学ぶことが出来た。次年度は、子どものやりたい気持ち、やりたくない気持ちを尊重する。

- ・日々のトイレトレーニングでほぼ1日パンツで過ごせる様になったり、会話を友達同士で楽しむ姿が見られたり、2歳児における生活習慣の獲得が認められたこと。
- ・遊びを通して、体力・知力共に向上することができ、全体で一斉に活動したり、集団生活も楽しく出来るようになったこと。
- ・子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添う事を大切にしたり、行動の理由を追求したりすることで、子どもたちの特性を知ることが出来、信頼関係を築く事ができた。
- ・塗り絵やお絵描き等の座って遊べる活動を取り入れたことで、静と動のメリハリがつき、椅子に座って活動できる時間が増えた。
- ・手作りおもちゃを積極的に作り、子どもたちが集中して遊べる活動を取り入れていく。
- ・活動ごとにメリハリをつけ、集団での生活をスムーズに進められるようにする。

3. 園としての自己評価に関して

- ・当社（全園共通）の保育理念に関して

当社の保育理念は、「日々の丁寧な関わりによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる。」と掲げております。

こちらの保育理念を達成する為には、まず私たち保育士の子ども達との関わり方と質の高い保育の提供が重要になります。日々の生活の中で様々な経験を通し、子ども達一人ひとりが自分らしい個性を発揮できるよう、保育を展開していきます。

特に0歳児～2歳児は体も心も大きく成長する時期で、様々な事を吸収する時期でもあります。保育士が見本となり、丁寧で優しさに溢れた保育士になれるよう、勤務する社員全員がお互いに切磋琢磨し、学び合って成長できる環境を作って参ります。

- ・当園の保育目標に関して

当園の保育目標は、「心も身体健康で、笑顔溢れる子どもを育てる」、「人との関わりを喜び、元気な挨拶ができる子どもを育てる」としています。

社員の日々の子どもたちの関わりの成果で、毎日笑顔で登園してきてくれる子ども達が多く、大変嬉しく思います。子どもたちが毎日笑顔で、保育園が楽しいと思ってもらえる環

2024/2/26

アルタベビー美園東園

境作りは引き続き徹底して参ります。また、来年度は近隣の方との交流の場面を多く作れたらと考えております。

社員一人ひとりが、登園に通う子ども達の為に学びを深め、保育で実践し、保育園全体が更により良くなるように全員で精進します。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。